

# 星屑

2016年9月号

No. 498



土星 2016年7月27日

土星 2016年7月27日

20cm 反射 Aptina ARO 130 カラー C-MOS カメラ

がんばるばい 熊本！ 熊本県民天文台

# 7/22(金) 菊陽町ふれあいの森研修センターで 「星空の観察会」 火星・土星と夏の星座

10組29名が参加、キャンセル待ちのご家族もあったそうです



## キャンセル待ちも！

7/22(金)、菊陽ふれあいの森研修センターで「星の観察会」、参加者は、10組、29名でした。もう一組申し込みがあったのだそうですが、規定があって、予定の10組だけ受け付けたとのこと。募集定員が決まっているので、あと1組はキャンセル待ち、の扱いだったそうです。「星の観察会」はここでも人気なんですね。

## 不安定なお天気だったが！

お天気予報がコロコロ変わる中での開催でしたが、薄雲が広がる程度の「晴れ」でした。まず室内で開会して、県民天文台について説明。地震で41cm望遠鏡が倒れたことや、7月5日(火)

に倒壊した望遠鏡を搬出、代わりに経緯儀式の望遠鏡を設置したことなどを紹介しました。もちろん新しい望遠鏡の計画も完成予想図を示しながら説明して、軽く募金の呼びかけもしておきました。

室内で「今日は何を知りたいか？」などいくつか質疑応答をやったら、子ども達から鋭い質問が続いて、おもしろかったです。

それから、外に出て観察開始。まだ空に青さが残っている時間でしたから、望遠鏡の使い方とのぞき方も説明しました。やがて星が見え始め、ベガと火星と土星を望遠鏡で観察。夏の大三角、北斗七星、北極星の探し方、などを解説。

いつものように、観察の順番を待っている間に質問を受けて、それを活用しながら星空の解説を展開しつつ、望遠鏡での観察を楽しみました。よほど楽しかったのでしょうか、終わり近くになって、「募金をしたい」と声をかけてくださった方がいらっしやいました。こんな具合で、あっという間に、予定の21時になりました。

研修室に戻って、終わりの挨拶。「地震で被災したので子どもの家に避難している、今夜は孫達についてきた」という高齢のご夫婦が、1,000円を募金してくださいました。地震で被災されているにもかかわらずの募金、ありがたいです。呼びかけの効果が早速現れたのも嬉しかったです!

### **終わったあとも一仕事**

片付け終わって、事務室で研修センターのスタッフと意見交換をして、研修センターを出発したのが 21:50頃。天文台に到着して、機材を下ろし終わったら、とくに23時を回っていました。天文台で、望遠鏡を積み込んだのが15時頃ですから・・・、全行程は約8時間。暑さが厳しいですから、やはりくたびれますねえ。

でも、一般公開再開後初で、この夏第1号の「出張観察会」が無事に終わって、なんだかホッとしました。

## **7/29(金) 県民天文台で地震後初の団体公開**

### **城南公民館講座「星空の観察会」**

60名が参加、経緯儀式望遠鏡での新しいスタートです

7/29 (金)、城南公民館講座「火星・土星と夏の星空」12組+4~5組、全部で60名ほどの来台でした。講師は、艶島、中島、西嶋の3名、それに、城南公民館のスタッフ3名、熊日記者1名

望遠鏡では、火星と土星を観察。玄関前広場にブルーシートを広げて参加者に座ってもらい、電子紙芝居で解説したり星空を見上げてもらったりしながら、おおよそ2つのグループに別けて、交互に観測室と往復していただきました。

時々、プロジェクターの灯りを消し、天文台の玄関ドアも閉めて、「暗闇」に近い状態を確保。目が慣れるに従って次第に暗い星が見えてくることを体験していただきました。熊本の街中では2等星が見えるかどうかといった環境でしょうが、ここではうっすらと天の川が見えます。そんな環境の違いも体験していただき、「光害対策」に取り組むよう促しました。



### 解説の内容は

県民天文台の紹介、倒れた望遠鏡と新しい望遠鏡の導入計画の説明、募金への協力要請。続いて、火星と土星のビデオ、これは導入したばかりのミード社製35cmACF望遠鏡で撮影したものです。それから、火星接近についての解説。「スーパーマーズ」なんて呼び方や最近のマスコミの低水準な対応ぶりへの批判的な意見をしっかり述べておきました。

電子紙芝居は「オリオンとサソリ」、「天に投げ上げられた熊」、「龍とムカデ」を上演。

空を見上げて、夏の大三角・春の大曲線・北斗七星・さそり座・いて座・はくちょう座などを解説。はくちょう座X-1の位置も。もちろん、いて座のティーポットから、天の川を探す方法も説明しました。

途中で、「火星は火の星と書くのに、なぜ二酸化炭素が凍るほど寒いのか?」と小学生が質問してくれたので、「火星」の名前の由来と火星が寒い理由を解説しました。太陽から遠ざかるほど届く熱の量が減っていき、どんどん寒く(冷たく)なるってこと、意外なほど知られていないようですね。この他にもたくさん質問が出て、なかなか楽しい2時間でした。

観察会の間だけ雲が薄れていて星がよく見えました。

終わったら、すぐに一面の雲という状態になりましたから、本当に幸運でしたね。

# 7/30(土)~31(日) 国立天文台で Paofits合宿 「デジカメ天文学」の推進へ

教科書(1社)の掲載内容改定案検討、HR図その後、他



頻繁に開かれているミーティングにはなかなか参加できないものですから、ワークショップや合宿の際には、万難を排して参加するよう心がけています。今回も、改訂を渋る(?)出版社を相手に、どうやったら「改訂しなくっちゃ」と思ってもらえるか、知恵を絞って提案しました。

帰熊後に、「改訂提案がうまく通った!」とメールで報告が来たときは、「合宿に参加して良かった」と思ったのでした。「デジカメ天文学」の普及促進に、もうひと頑張りしましょうか。

# 8/6(土) 熊本県博物館ネットワーク主催 「夏の星空観察会」 火星・土星と夏の星座

夕方から雨! その後晴れ間、一般を含め73名が参加、賑やかでした!



**直前まで雨!**

この夏の猛暑が続いて、午後には東側の阿蘇山方向や南東の九州山地側には巨大な入道雲が林立、18時に準備作業を始める頃には雲頂が大きく広がり、崩れ始めました。シートを広げ

たりプロジェクターを設置するのは少し待った方が良さそうだ、そう思うまもなく雨が降り始めました。それでも、参加者が続々詰めかけてきます。「どうなの?!」スタッフに緊張が走りました。

「雨が降らなければ良いのに・・・」とつぶやく人もいましたが、「早く降って、雲が崩れてしまった方が良い」と自分で声を出し、「そうだ、そうだ!」と気分は前向き。「雨が上がったら、すぐに準備しますから!」と、参加者への声かけをしました。

### 5分遅れでスタート

スタッフは皆慣れていますが、雨が上がったとたん一気に準備作業を進めて、開会宣言はわずか5分の遅れ、無事にイベントがスタートしました。

### 火星と土星、夏の星座

この日、望遠鏡での観察対象は火星と土星、プロジェクターを使った解説も火星と土星のビデオ、それに火星接近の解説。電子紙芝居では「オリオンとサソリ」のお話が、やはり人気でした。参加者の中には、自分が生まれた月の「星座」が、生まれた頃の季節に、夜空に見えるものだと思込んでいる人が多いようです。「どこに見えていますか?」と質問してきました。

そこで、星座が生まれたいきさつを解説。プロジェクターを消して、頭上に見える夏の大三角の星々や、火星・土星など、夜空に見える星までの距離と時間も解説したら、これまた意外だったようで、皆さん感動してくださったようです。

## 8/11(木、祝) 美里町の 元気の森かじか で 「夏の星空観察会」 火星・土星と夏の星座

イーランドスポーツクラブが主催、水泳教室の子どもや障害者!



### ■ ハンディキャップのある人も一緒に

8/11(木)は、美里町の宿泊研修施設「元気の森かじか」で、イーランドスポーツクラブの「星空観察会」でした。参加者は、年長組から5・6年生くらいまでの、水泳教室に通う子ども達+水泳教室に参加している知的障害のある青少年。全部で19名と引率2名、計21名でした。

九州山地に巨大な入道雲が立って、直下では豪雨が降っていたらしく、現地でも頭上に黒雲が広がるちよっぴりヤバイお天気でした。到着直後は望遠鏡が設置できるか心配でしたが、それでも、時折晴れ間が通って、薄暗くなり始めると半月や火星・土星・アンタレス、夏の大三角、北斗七星やアークトゥルスなどが見え隠れ。グラウンドで生の星空を見上げることができました。

結局、15cm屈折では、お月さんを観察できただけでしたが、子ども達は何度も列に並び直して月を観察。クレーターも見えたし、とても満足してくれた様子、たくさんの質問を浴びました。1時間の予定だったのですが、たっぷり1時間半、楽しんでくれました。

☆☆☆☆☆☆ **これからの予定** ☆☆☆☆☆☆

8月20日（土） 山鹿市の浄光寺で たけのっこクラブ  
土星と火星、夏の大三角

8月26日（金） 菊陽町ふれあいの森研修センター  
土星と火星、夏の大三角、天の川

9月9日（金）、19:00～ 菊陽町ふれあいの森研修センター  
半月、土星・火星、夏の大三角、夏の星座、月の撮影

9月10日（土）、19:30～ 県環境センター  
「星空観察会」  
半月、土星・火星、夏の大三角、夏の星座、月の撮影

9月16日（金）、満月前日（中秋の名月の翌日）、武蔵丘コミセンで  
月の観察と撮影

9月17日（土）、 フィールドミュージアムへ飛びだそう！  
月を観察して撮影しよう

9月30日（金）、本渡北小学校  
「星の観察会」 夏の大三角

10月1日（土）、19:00 ～ 武蔵丘小学校4年生  
「星の観察会」

11月25日（金）、19:00 ～ 武蔵丘コミセンで  
「星の観察会」

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

他にも、「星の観察会」開催について、問い合わせが入っています

☆☆☆☆☆☆ 望遠鏡募金を推進しましょう！ ☆☆☆☆☆☆

梅雨明けしたとたん猛暑続きなので、流石にへろへろとなっております。室内の仕事ではあるものの、地震から大雨といった落ち着かない生活に、私の仕事場では体調崩して病院行きの多いこと。そういう私も熱中症で、点滴でした。危ない危ない。(^^;)  
 そー言えば、今年は土星見てないなあ。たまには、星空をゆっくり眺めたいものです。

## ☆ 9月の天文現象 & 行事 ☆

- 1日(木) 新月(18:03)
- 3日(土) 細い月と金星が大接近 海王星が衝(10:18 7.8等、視直径02.4")
- 7日(水) 火星が東矩(08:00 -0.2等、視直径10.1")  
 白露(はくろ… 秋の気配が強まり、草木の葉に露が白く光るという意味)
- 9日(金) 上弦(20:49)
- 10日(土) トークアバウト(20:00~ 変更の場合あり)
- 12日(月) 水星が内合(14:17 4.8等、視直径10.5")
- 15日(木) 中秋の名月
- 17日(土) 半影月食(03:54) 満月(04:05)  
 フィールドミュージアム 月を観察して撮影しよう
- 19日(月) はくちょう座 $\chi$ 星が極大(3.3~14.2等 周期408日)
- 22日(木) ヒヤデス星団の食  
 おうし座 $\gamma$ 星(3.7等)の食(福岡:21日23:17→00:14)  
 アルデバラン(0.9等)の食(福岡:08:18→09:21)  
 秋分(しゅうぶん… 昼夜同じ長さ(等分)になる日で秋分。秋の彼岸の中日)
- 23日(金) 下弦(18:56)
- 27日(火) 木星が合(06:49 -1.7等、視直径30.5")
- 29日(木) 水星が西方最大離隔(04:27 -0.5等、視直径07.0")

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2016年9月号 通巻498号  
 発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226  
 熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台  
 TEL 0964-28-6060  
 振替口座 01700-5-105697  
 NPO熊本県民天文台事務局  
 天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス [astro@kcao.jp](mailto:astro@kcao.jp)  
 メーリングリストの加入申し込み受付中 [kcaohige2003@yahoo.co.jp](mailto:kcaohige2003@yahoo.co.jp) 中島まで